

統合報告書 2025

トップメッセージ

当社は、変化の激しい経営環境の中で、お客様や社会に新たな価値を提供し続けることを使命としています。

そのために、デジタル技術の力を活用し、全社一丸となって変革に挑戦しています。

今後も、持続可能で信頼される企業であり続けるべく、DXを中心とした経営改革に取り組んでまいります。

株式会社エム・アイ・エス

代表取締役 福村 陽夫

経営ビジョン

株式会社エム・アイ・エスは、「全てのお客様から”ありがとう”と言って頂ける企業の実現」という企業理念のもと、社会や産業の変化に柔軟に対応しながら、情報処理技術を活用して企業価値の向上を目指しています。

デジタルトランスフォーメーション（DX）を通じて、業務効率化と新たなビジネス価値の創造を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

DX 戦略

当社は、クラウド・RPA・BI ツール等を活用し、自社業務の標準化・自動化を進めるとともに、顧客への提供価値を高める DX 戦略を策定・実行してまいります。

DX 推進は段階的に行い、第 1 フェーズでは社内業務改革、第 2 フェーズでは顧客接点やサービスの変革を目指しています。

DX 戦略の具体的な取組

当社の DX 戦略では、「社内業務データの可視化と意思決定支援」「顧客データの分析によるサービス向上」の 2 つの視点でデータ活用を位置づけています。

営業・対応履歴・アンケート結果・業務工数データなどを収集し、BI ツールで KPI を可視化し、業務改善や人的配置の最適化に活用してまいります。

また、顧客ポータルを通じたアクセスログ・利用状況も分析し、提案内容の高度化やサービス改善につなげていきます。

DX 戦略推進体制

推進体制の構築

DX 推進委員会を設置し、全社的なデータ一元管理、施策の進捗管理等を実施して行きます。

デジタル人材育成

入門から上級までの育成プログラムを構築し、全社員がデジタル技術とデータ分析を習得できる体制を整備して行きます。

最新技術活用のための環境整備

- クラウドサービスの導入
- RPA ツール活用
- セキュリティ対策（VPN、MDM 等）
- IT 教育の実施

戦略の達成状況に係る指標

戦略進捗の可視化のために以下の DX 推進指標を設定します。

- RPA による業務時間削減率
- 社内業務の電子化率
- 顧客満足度（アンケート）
- DX 投資の ROI
- DX 研修受講率

情報発信

代表取締役がステークホルダーに向けて DX の方向性と意義を積極的に発信します。社内向けには電子掲示版を活用し、社外向けにはホームページおよび表敬訪問にて発信します。

課題の把握

DX 推進指標と定期的なレビューにより、業務・IT 環境の課題を把握し、迅速に対応を行います。

サイバーセキュリティに関する対策の的確な策定及び実施

ISMS 委員会の方針に基づき、以下を遂行中です。

- セキュリティポリシーの策定
- 標的型攻撃への対策と社内訓練
- 情報漏えい防止技術の導入

ESG（環境・社会・ガバナンス）への取組

当社は企業の持続的成長と社会的責任を両立させるため、ESG に配慮した経営を実践しています。

- 環境（Environment）：紙使用の削減、クラウド化による電力効率の改善、廃棄物削減への取組
- 社会（Social）：地域社会との共生、働き方改革、ダイバーシティ推進、ワークライフバランスの向上
- ガバナンス（Governance）：社外取締役の活用、情報開示の透明性向上、内部統制の強化

人材戦略と育成方針

DX 推進の中核を担うのは“人”であるという考えのもと、当社は人材育成を最重要テーマの一つとしています。

- DX リテラシー研修の継続実施（全社員対象）
- 若手社員向けの OJT とメンター制度の導入
- 外部セミナーや資格取得支援制度の整備
- キャリアパスの明確化と多様な働き方の実現

これらを通じて、自律的に学び成長する人材の育成を推進しています。